

令和7年度 長崎県公立高等学校入学者選抜

出願書類等記入要領

(中学校の先生用)

 長崎市立長崎商業高等学校

令和6年10月

- 1 各入学願書、自己推薦書、送り状の「長崎商業高等学校長 様」は、「長崎市立」は不要である。
- 2 各入学願書、志願者名簿の「志願校(名)」欄についても、「長崎市立」は不要である。
- 3 各入学願書、調査書の志願者及び保護者の「現住所」欄は、市または郡から書く(中学校の支援システムから入れる場合は県から入る)。なお、県外については、都道府県名から記入する。
- 4 各入学願書の「志願者の略歴」欄の小・中学校名は「〇〇市立」「〇〇郡〇〇町立」から記入する。なお、転入の経歴のない受検生は転入の欄に斜線を引く。
- 5 基本的に記入事項のない欄には斜線を引く。(調査書の)斜線の引き方については県教育委員会「令和7年度長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領」のp101に従う。
(調査書以外も記入事項のない欄には斜線を引く。志願者の略歴、志望学科・コース等)
- 6 上記1～5以外に、出願にかかる書類の記入については、細かく指定する箇所がある。詳細については本冊子の指示及び記入例を参照すること。
- 7 志願者名簿については、外字を使用せず、常用漢字を使用する。

～目次～

・特別選抜(自己推薦①・自己推薦②)入学願書記入上の注意	p. 2
・自己推薦①【総合ビジネス科】入学願書記入要領	p. 3
・自己推薦①【総合ビジネス科スポーツビジネスコース】入学願書記入要領	p. 4
・自己推薦②【総合ビジネス科】入学願書記入要領	p. 5
・自己推薦②【総合ビジネス科スポーツビジネスコース】入学願書記入要領	p. 6
・自己推薦②【情報科】入学願書記入要領	p. 7
・自己推薦①【総合ビジネス科】自己推薦書記入要領	p. 8
・自己推薦①【総合ビジネス科スポーツビジネスコース】自己推薦書記入要領	p. 8
・自己推薦②【総合ビジネス科】自己推薦書記入要領	p. 9
・自己推薦②【総合ビジネス科スポーツビジネスコース】自己推薦書記入要領	p. 10
・自己推薦②【情報科】自己推薦書記入要領	p. 11
・一般選抜入学願書記入上の注意	p. 12
・一般選抜における志望学科・コースの記入例	p. 13
・一般選抜入学願書記入要領	p. 14
・志願者名簿について	p. 15
・送り状について	p. 16
・写真票について	p. 17
・配慮措置申請書について	p. 18
・追検査受検願について	p. 19
・調査書の記入・作成要領等	p. 20

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②）

入学願書の記入上の注意

（様式1－1）

- 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。
 - (1) 入力する場合、印刷されない文字や入力できない文字は、自筆すること。また、保護者氏名は保護者本人が確認すること。
 - (2) 自筆する場合、清書を鉛筆書きで行い、そのコピーを提出してもよい。その際、消した文字等がコピーに写らないように注意すること。また、保護者氏名は保護者本人が自筆すること。
- 2 ※印の欄は記入しない。
- 3 「志望学科・コース」欄の記入については、記入要領の指示に従うこと。
- 4 「志願者の略歴」欄について
 - (1) ○○市立○○中学校、○○郡○○町立○○中学校と記入する。
 - (2) 校名が、「義務教育学校」や「小中学校」の場合は、必要に応じて該当箇所に修正を行ってもよい。

例) ○○小中学校卒業見込の場合
「中学校卒業見込」の前に「小」を加筆する。
 - (3) 旧年度卒業者の場合は「見込」を黒の二重線で削除すること。
- 5 備考欄の記入については、記入要領の指示に従うこと。

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 年 月 日

長崎商業 高等学校長 様

自己推薦①【総合ビジネス科】
記入要領

志願者氏名	※志願者が自署
保護者氏名	※保護者が自署

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
○	

志願者	ふりがな 氏名	※漢字以外の文字にもふりがなをふる	生年月日	平成 年 月 日
	志願校	長崎商業 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望 総合 科コース 第2志望 科コース 第3志望 ※第2・第3志望は斜線処理 科コース
	現住所	〒 ※長崎市在住者 → 長崎市から記入 ※長崎市以外在住者 → ○○市、○○郡から記入		
保護者	現住所	〒 ※志願者と同居の場合 → 志願者の欄に同じ		
志願者の略歴	令和 年 月			中学校入学
	年 月	転校がなければ斜線処理 2行まとめて処理してもよい		中学校転入
	年 月			中学校転入
	令和 年 月			中学校卒業見込
	中学校卒業後	該当がなければ斜線処理		
備考	※次の5つの部活動から1つ記入 野球、ソフトボール(女子)、ソフトテニス(女子)、陸上競技、卓球			

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 年 月 日

長崎商業 高等学校長 様

**自己推薦①【総合ビジネス科スポーツ
ビジネスコース】記入要領**

志願者氏名	※志願者が自署
保護者氏名	※保護者が自署

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
○	

志願者	ふりがな 氏名	※漢字以外の文字にもふりがなをふる	生年月日	平成 年 月 日
	志願校	長崎商業 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望 スポーツ 科コース 第2志望 科コース 第3志望 ※第2・第3志望は斜線処理 科コース
	現住所	〒 ※長崎市在住者 → 長崎市から記入 ※長崎市以外在住者 → ○○市、○○郡から記入		
保護者	現住所	〒 ※志願者と同居の場合 → 志願者の欄に同じ		
志願者の略歴	令和 年 月			中学校入学
	年 月	転校がなければ斜線処理 2行まとめて処理してもよい		中学校転入
	年 月			中学校転入
	令和 年 月			中学校卒業見込
	中学校卒業後	該当がなければ斜線処理		
備考	※次の5つの部活動から1つ記入 野球、ソフトボール(女子)、ソフトテニス(女子)、陸上競技、卓球			

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 年 月 日

長崎商業 高等学校長 様

自己推薦②【総合ビジネス科】
記入要領

志願者氏名	※志願者が自署
保護者氏名	※保護者が自署

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
	○

志願者	ふりがな 氏名	※漢字以外の文字にもふりがなをふる	生年月日	平成 年 月 日
	志願校	長崎商業 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望 総合 科コース 第2志望 科コース 第3志望 ※第2・第3志望は斜線処理 科コース
	現住所	〒 ※長崎市在住者 → 長崎市から記入 ※長崎市以外在住者 → ○○市、○○郡から記入		
保護者	現住所	〒 ※志願者と同居の場合 → 志願者の欄に同じ		
志願者の略歴	令和 年 月	中学校入学		
	年 月	転校がなければ斜線処理 2行まとめて処理してもよい 中学校転入		
	年 月	中学校転入		
	令和 年 月	中学校卒業見込		
	中学校卒業後	該当がなければ斜線処理		
備考	※志願資格2または3の番号と共に本校入学後に活動を希望する運動部（本校に設置する部）名を記入 【記入例】志願資格2 ソフトテニス ※志願資格2または3の、中学校で取り組んだ部活動・地域スポーツの競技と、本校入学後に活動を希望する運動部（本校に設置する部）名が異なる場合 【記入例】志願資格3（中）バレーボール・（高）バスケットボール			

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

(様式 1 - 1)

※受付番号

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 年 月 日

長崎商業 高等学校長 様

**自己推薦②【総合ビジネス科スポーツ
ビジネスコース】記入要領**

志願者氏名 **※志願者が自署**

保護者氏名 **※保護者が自署**

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
	○

志願者	ふりがな 氏名	※漢字以外の文字にもふりがなをふる	生年月日	平成 年 月 日
	志願校	長崎商業 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望 スポーツ 科コース 第2志望 科コース 第3志望 ※第2・第3志望は斜線処理 科コース
	現住所	〒 ※長崎市在住者 → 長崎市から記入 ※長崎市以外在住者 → ○○市、○○郡から記入		
保護者	現住所	〒 ※志願者と同居の場合 → 志願者の欄に同じ		
志願者の略歴	令和 年 月			中学校入学
	年 月	転校がなければ斜線処理 2行まとめて処理してもよい		中学校転入
	年 月			中学校転入
	令和 年 月			中学校卒業見込
	中学校卒業後	該当がなければ斜線処理		
備考	※志願資格2または3の番号と共に本校入学後に活動を希望する運動部（本校に設置する部）名を記入 【記入例】志願資格2 ソフトテニス ※志願資格2または3の、中学校で取り組んだ部活動・地域スポーツの競技と、本校入学後に活動を希望する運動部（本校に設置する部）名が異なる場合 【記入例】志願資格3（中）バレーボール・（高）バスケットボール			

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 年 月 日

長崎商業 高等学校長 様

**自己推薦②【情報科】
記入要領**

志願者氏名 **※志願者が自署**

保護者氏名 **※保護者が自署**

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
	○

志願者	ふりがな 氏名	※漢字以外の文字にもふりがなをふる	生年月日	平成 年 月 日
	志願校	長崎商業 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望 情報 科コース 第2志望 科コース 第3志望 ※第2・第3志望は斜線処理 科コース
	現住所	〒 ※長崎市在住者 → 長崎市から記入 ※長崎市以外在住者 → ○○市、○○郡から記入		
保護者	現住所	〒 ※志願者と同居の場合 → 志願者の欄に同じ		
志願者の略歴	令和 年 月			中学校入学
	年 月	転校がなければ斜線処理 2行まとめて処理してもよい		中学校転入
	年 月			中学校転入
	令和 年 月			中学校卒業見込
	中学校卒業後	該当がなければ斜線処理		
備考	※志願資格1、志願資格2、志願資格3 のいずれかを記入 志願資格1			

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

特別選抜（自己推薦①）

自己推薦書

令和 年 月 日

長崎商業

高等学校長 様

立

中学校

氏名

入学後の活動種目・分野

※ 次の5つの部活動から1つ記入

野球、ソフトボール(女子)、ソフトテニス(女子)、陸上競技、卓球

志願理由

自己推薦①
【総合ビジネス科】
【総合ビジネス科スポーツビジネスコース】
記入要領

主な実績・結果

活動名・大会名 等

学年

実績・結果

添付書類

備考

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。（入学願書の記入上の注意の1に準じる）
- 2 「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類（賞状・新聞記事等）の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

特別選抜 (自己推薦②)

自己推薦書

令和 年 月 日

長崎商業

高等学校長 様

立 中学校 氏名

主体的活動を通して								
	自己推薦②【総合ビジネス科】							
	記入要領							
志願理由								
取得資格等	1	名称	階級・スコア等	添付書類	2	名称	階級・スコア等	添付書類
主な実績・結果	活動名・大会名 等			学年	実績・結果			添付書類
備考	<p>※志願資格2または3の番号と共に本校入学後に活動を希望する運動部(本校に設置する部)名を記入 【記入例】 志願資格2 ソフトテニス ※志願資格2または3の、中学校で取り組んだ部活動・地域スポーツの競技と、本校入学後に活動を希望する運動部(本校に設置する部)名が異なる場合 【記入例】 志願資格3(中)バレーボール・(高)バスケットボール</p>							

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。(入学願書の記入上の注意の1に準じる)
- 2 「取得資格等」、「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類(合格証明書、賞状・新聞記事等)の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

特別選抜 (自己推薦②)

自己推薦書

令和 年 月 日

長崎商業

高等学校長 様

立 中学校 氏名

主体的活動を通して								
	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>自己推薦②【総合ビジネス科スポーツビジネスコース】記入要領</p> </div>							
志願理由								
取得資格等	1	名称	階級・スコア等	添付書類	2	名称	階級・スコア等	添付書類
主な実績・結果	活動名・大会名 等			学年	実績・結果			添付書類
備考	<p>※志願資格2または3の番号と共に本校入学後に活動を希望する運動部(本校に設置する部)名を記入 【記入例】志願資格2 ソフトテニス ※志願資格2または3の、中学校で取り組んだ部活動・地域スポーツの競技と、本校入学後に活動を希望する運動部(本校に設置する部)名が異なる場合 【記入例】志願資格3(中)バレーボール・(高)バスケットボール</p>							

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。(入学願書の記入上の注意の1に準じる)
- 2 「取得資格等」、「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類(合格証明書、賞状・新聞記事等)の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

特別選抜 (自己推薦②)

自己推薦書

令和 年 月 日

長崎商業

高等学校長 様

立 中学校 氏名

主体的活動を通して								
	自己推薦②【情報科】 記入要領							
志願理由								
取得資格等	1	名称	階級・スコア等	添付書類	2	名称	階級・スコア等	添付書類
主な実績・結果	活動名・大会名 等			学年	実績・結果			添付書類
備考	<p>※志願資格1、志願資格2、志願資格3 のいずれかを記入</p> <p>志願資格1</p>							

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。(入学願書の記入上の注意の1に準じる)
- 2 「取得資格等」、「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類(合格証明書、賞状・新聞記事等)の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

一般選抜

入学願書の記入上の注意

(様式1-3)

- 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。
 - (1) 入力する場合、印刷されない文字や入力できない文字は、自筆すること。また、保護者氏名は保護者本人が確認すること。
 - (2) 自筆する場合、清書を鉛筆書きで行い、そのコピーを提出してもよい。その際、消した文字等がコピーに写らないように注意すること。また、保護者氏名は保護者本人が自筆すること。
- 2 ※印の欄は記入しない。
- 3 「志願校」の欄について
 - (1) 長崎商業高等学校 全日制 と、記入する。
 - (2) 「志望学科・コース」欄の記入について
総合ビジネス科 → 「総合」と記入する。
総合ビジネス科スポーツビジネスコース → 「スポーツ」と記入する。
情報科 → 「情報」と記入する。
なお、第3志望まで学科・コースを希望することができる。
第1志望のみの場合 → 第2・第3志望学科の欄に斜線を引く。
第2志望まで希望する場合 → 第3志望学科の欄に斜線を引く。
※次ページの記入例を参照すること。
- 4 「志願者の略歴」欄について
 - (1) ○○市立○○中学校、○○郡○○町立○○中学校と記入する。ただし、県外は都道府県名も記入する。
 - (2) 校名が、「義務教育学校」や「小中学校」の場合は、必要に応じて該当箇所に修正を行ってもよい。
例) ○○小中学校卒業見込の場合
「中学校卒業見込」の前に「小」を加筆する。
 - (3) 旧年度卒業者の場合は「見込」を黒の二重線で削除すること。
 - (4) 中学校卒業後欄の記入については、記入要領の指示に従うこと。

一般選抜における志望学科・コースの記入例

【第1志望のみの記入例】

第1志望	総合
第2志望	
第3志望	

第1志望	総合
第2志望	
第3志望	

第1志望	スポーツ
第2志望	
第3志望	

第1志望	スポーツ
第2志望	
第3志望	

第1志望	情報
第2志望	
第3志望	

第1志望	情報
第2志望	
第3志望	

【第2志望までの記入例】

第1志望	総合
第2志望	スポーツ
第3志望	

第1志望	総合
第2志望	情報
第3志望	

第1志望	スポーツ
第2志望	総合
第3志望	

第1志望	スポーツ
第2志望	情報
第3志望	

第1志望	情報
第2志望	総合
第3志望	

第1志望	情報
第2志望	スポーツ
第3志望	

【第3志望までの記入例】

第1志望	総合
第2志望	スポーツ
第3志望	情報

第1志望	総合
第2志望	情報
第3志望	スポーツ

第1志望	スポーツ
第2志望	総合
第3志望	情報

第1志望	スポーツ
第2志望	情報
第3志望	総合

第1志望	情報
第2志望	総合
第3志望	スポーツ

第1志望	情報
第2志望	スポーツ
第3志望	総合

一般選抜／定時制 I 期・II 期選抜／

入学願書

連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

令和 年 月 日

長崎商業

高等学校長 様

志願者氏名	※志願者が自署
保護者氏名	※保護者が自署

貴校への入学を志願いたします。

志願者	ふりがな 氏名	※漢字以外の文字にもふりがなをふる	生年月日	平成 年 月 日
	志願校	長崎商業 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望 総合 科コース 第2志望 情報 科コース 第3志望 ※第2・第3志望を希望しない場合は斜線処理 科コース
	現住所	〒 ※長崎市在住者 → 長崎市から記入 ※県外在住者 → 都道府県から記入 ※長崎市以外在住者 → ○○市、○○郡から記入		
保護者	現住所	〒 ※志願者と同居の場合 → 志願者の欄に同じ		
志願者の略歴	令和 年 月			中学校入学
	年 月	転校がなければ斜線処理 2行まとめて処理してもよい		中学校転入
	年 月			中学校転入
	令和 年 月			中学校卒業見込
	中学校卒業後	※第1～第3志望に「総合ビジネス科スポーツビジネスコース」を希望する場合は、本校入学後に活動を希望する運動部（本校に設置する部）名を記入 ※スポーツビジネスコースを志願しない場合は斜線処理		

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

(様式 3 - 1)

志 願 者 名 簿

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜	一般選抜／定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜／ 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜	チャレンジ 選抜

(No.)

中学校名		志 願 校 名	高等学校	全 日 制 定 時 制 (夜間・昼間)
------	--	------------------	------	--------------------------------------

※受検番号	氏 名	備 考	既受検校	通学区域外 志願
		総合		
		総合		
		総合		
		※1行空ける		
		スポーツ		
		スポーツ		
		※1行空ける		
		情報		
		情報		
		情報		
		情報		

志願者名簿は選抜ごとに作成する

- ・ 特別選抜 (自己推薦①)
- ・ 特別選抜 (自己推薦②)
- ・ 一般選抜 の3つの区分で作成
- ※備考欄に志願学科・コースを記入する
(一般選抜の場合は第1志望学科・コース)
- ・ 総合ビジネス科 → 「総合」
- ・ 総合ビジネス科スポーツビジネスコース → 「スポーツ」
- ・ 情報科 → 「情報」と記入する
- ※記入例のように、学科・コース間は1行空ける
- ※男女混合記載で構わない

- (注) 1 「志願校名」欄は、全日制・定時制のどちらか該当しない方を二重線または一本線で削除すること。なお、鳴滝高等学校及び佐世保中央高等学校の定時制課程については、夜間・昼間のどちらか該当しない方を二重線または一本線で削除すること。
- 2 ※欄は、高等学校で記入すること。
- 3 普通科について通学区域外志願の場合は、「通学区域外志願」欄に○を記入すること。
- 4 志願者が、すでに公立高等学校を受検した場合(志願のみで受検しなかった場合を含む。)は、その受検校名を「既受検校」欄に記入すること。なお、チャレンジ選抜、Ⅱ期選抜において「既受検校」が複数校ある場合はすべて記入すること。
- 5 選抜ごとに作成すること。ただし、学科・コース別に分けて作成する必要はない。

(様式 3 - 2) 送り状

文 書 番 号
令和 年 月 日

高等学校長 様

立 中学校長



令和 7 年度長崎県公立高等学校入学志願者の
入学願書等の提出について

別紙志願者名簿に記載のとおり、本校から 名の者が貴校を志願しますので、
下記部数の入学願書に選抜手数料等を添えて提出します。

* 該当する選抜の欄に 1 つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜	一般選抜 / 定時制 I 期・II 期選抜 / 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜	チャレンジ選抜

記

1 入 学 願 書	計	通
2 写 真 票	計	通
3 志 願 者 名 簿	計	通
4 調 査 書	計	通
5 成 績 一 覧 表	計	通
6 自 己 推 薦 書	計	通
7 選 抜 手 数 料 又は 選 抜 手 数 料 の 差 額	計 (定時制課程昼間部の選抜手数料をすでに納付している者で全日制課程に志願するもの 名分)	円
8 そ の 他	※添付資料 (実績証明書や副申書等) があれば記載。なければ斜線	

* 下記に合格者受検番号一覧の送付先 E メールアドレスを記入してください。

送付先 E メールアドレス	@
---------------	---

※半角英数で入力し、ハイパーリンク設定は解除 (アンダーラインが付かないように) する

(様式3-6)

写 真 票

<input type="checkbox"/>	全日制課程・定時制課程昼間部 特別選抜
<input type="checkbox"/>	全日制課程・定時制課程昼間部 一般選抜
<input type="checkbox"/>	定時制課程（昼間部を除く） I期選抜
<input type="checkbox"/>	定時制課程（昼間部を除く） II期選抜
<input type="checkbox"/>	帰国生徒・外国籍生徒に係る入学者選抜の特例措置
<input type="checkbox"/>	離島留学特別選抜
<input type="checkbox"/>	チャレンジ選抜

*上記のいずれかの左欄に○印を付ける。

受 検 番 号	※
---------	---

※印の欄は記入しない。

(写 真)

※サイズは「たて5cm×
よこ4cm」とする。

※写真票に直接画像を印刷しないこと
※写真の裏面には何も記入しないこと

氏 志
名 願
者

- (注) 1 志願者氏名欄は、志願者本人が、たて書きで記入すること（鉛筆は不可）。
2 写真は、脱帽、正面、上半身のものとし、出願前3か月以内に撮影したものを原則とするが、志願者本人であることの判別が可能な場合、令和6年度中に撮影したものをを用いてよい。
3 写真の背景は無地とし、本人のみを撮影したものに限り（集合写真の切り抜き等は不可）。また、印画紙の質や厚さは特に定めないが、本人が鮮明に印画されるものを使用すること。

配慮措置申請書

文 書 番 号
令和 年 月 日

高等学校長 様

中学校長 印

貴校志願（予定）の本校生徒（卒業生）について、下記のとおり配慮措置を申請します。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜	一般選抜／定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜／ 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜	チャレンジ選抜

記

志願者	氏名	性別
	生年月日	平成 年 月 日
障害等の種類・程度	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; text-align: center;"><p>※本申請書を提出する場合、事前に電話等で本校に相談すること。</p><p>※受検生への対応についてはすべて配慮することではなく、協議のうえで、可能な対応をとることになります。</p></div>	
中学校等における生活状況及び指導上の配慮事項		
受検上必要と考えられる特別な配慮等		

- (注) 1 この配慮措置の対象となる者は、障害等のため通常の方法により受検することが困難と認められる者とする。
2 障害等の種類・程度欄には、医師の診断結果等に基づいて具体的に記入する。
3 申請書の記載内容のみでは障害等を十分に把握できない場合には、別に添書を付ける。また、必要に応じて個別の教育支援計画、医師の診断書等の写しを添付する。

追検査受検願

文 書 番 号
令和 年 月 日

高等学校長 様

中学校長 印

貴校志願の本校生徒（卒業生）について、下記の理由により、追検査を受検させていただきようお願いします。

記

志願者	受検番号	
	氏名	
理由		<p>※中学校長は、追検査の受検希望があった場合は、直ちに本校校長に電話で連絡するとともに、2月19日(水)10時までに「追検査受検願」(様式 5-4)を本校校長に提出する(親展FAX可)。さらに中学校長は2月26日(水)12時まで(土日は除く)に、「受検できなかった理由が正当であることを証明できる書類(医師の診断書等)」を本校校長に提出する。</p>

- (注) 1 追検査の対象となる者は、インフルエンザ等、本人に責任を帰さないやむを得ない理由によって、本検査の一部又はすべてにおいて本検査場及び別室での受検が困難な者に限る。
- 2 理由の欄は、学力検査当日に受検できなかった理由を具体的に記入すること。
- 3 追検査受検願(本様式)と併せて、受検できなかった理由が正当であることを証明できる書類(医師の診断書等)を添付して、中学校長から志願先高等学校長へ提出すること。

調査書の記入・作成要領等

(1) 作成

- ① 中学校長は、志願者の調査書（様式 6-1）を令和 6 年 12 月末日現在で作成する。
- ② 調査書の各欄は、特に指示するもののほかは、「指導要録」に基づいて記入し、作為があってはならない。
- ③ 旧年度卒業生の調査書は、卒業後 5 年を超える志願者については、学籍の記録を除き記入を不要とする。また、卒業後 20 年を超える志願者については、調査書に代えて卒業証明書を作成して提出する。

中学校卒業	調査書等の作成について
令和 6 年 3 月卒業	令和 6 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和 7 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 5 年 3 月卒業	令和 5 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和 7 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 4 年 3 月卒業	令和 4 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和 7 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 3 年 3 月卒業	令和 3 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和 7 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 2 年 3 月卒業	令和 2 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和 7 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
平成 31 年 3 月卒業 ～ 平成 17 年 3 月卒業	令和 7 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (学籍の記録のみを記入する。)
平成 16 年 3 月卒業 以前	卒業証明書を作成する。

※なお、旧年度卒業生の調査書の「現住所」欄は、志願者が現在居住する住所を記入する。

※該当する年度の調査書の様式が必要な場合、中学校は高校教育課に請求すること。

※県外からの志願者も本県の様式で作成すること。

(2) 各欄の記入

- ① 数字は、原則として算用数字を用いる。
- ② 「性別」欄は、「男」又は「女」を記入する。
- ③ 「略歴」欄は、旧年度卒業生の場合は「見込」を黒の二重線または一本線で削除する。元号も二重線または一本線で削除して書き換える。
- ④ 「各教科の記録」欄の記入は、次のとおりとする。
 - ア 第 1 学年、第 2 学年の「観点別学習状況」の評価は、指導要録に記載された A 及び C を転記し、B は -（ハイフン）を記入する。
 - イ 第 3 学年の「観点別学習状況」の評価は、令和 6 年 12 月末日までの学習状況をもとに A 及び C を記入し、B は -（ハイフン）を記入する。
 - ウ 「観点別学習状況」欄の「計」には、各学年とも各教科における A の数の合計を記入する。
 - ※ 一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、「観点別学習状況」の評価に（ ）を付けるとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「観点別学習状況」欄の「計」には、（ ）を含めた A の数の合計を記入し、（ ）を付けること。
 - ※ 評価不能の教科については、斜線を引くとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「観点別学習状況」欄の「計」には、評価不能の教科を除いた A の数の合計を記入すること。
 - エ 第 1 学年、第 2 学年の評定は、指導要録に記載されたものを転記する。
 - オ 第 3 学年の各教科の評定は、令和 6 年 12 月末日までの学習状況をもとに 5 段階評定で記入する。

カ 「評定」欄の「計」には、各学年とも各教科の評定の合計を記入する。



※ 一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、評定に（ ）を付けるとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「評定」欄の「計」には、（ ）を含めた合計を記入し、（ ）を付けること。

※ 評価不能の教科については、斜線を引くとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「評定」欄の「計」には、評価不能の教科を除いた合計を記入すること。

- ⑤ 「特別活動の記録」欄は、第3学年のものを中心に、内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入し、それ以外の場合には、 - （ハイフン）を記入する。
- ⑥ 「行動の記録」欄は、第3学年のものを中心に、項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入し、それ以外の場合には、 - （ハイフン）を記入する。
- ⑦ 「出欠の記録」欄の「欠席の主な理由」は、欠席の主な理由がある者について、その理由（病名、事故の種類等）を記入する。ただし、欠席日数が学年ごとに合計10日以上ある者については必ず記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。
- ⑧ 「健康の状況」欄は、就学及び受検上配慮すべき事項がある場合、その事項について具体的に記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。
- ⑨ 「総合的な学習の時間の記録」欄は、第1学年、第2学年及び第3学年における総合的な学習の時間の活動内容と評価を記入する。ただし、第3学年については、令和6年12月末日までの内容と評価を記入する。
- ⑩ 「参考となる諸事項」欄は、各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動等の諸事項及び生徒の成長の状況にかかわる参考となる諸事項等を記入する。
- ⑪ 「記載責任者」は、学級担任とし、「職」については、教諭、講師等の職名を記入する。

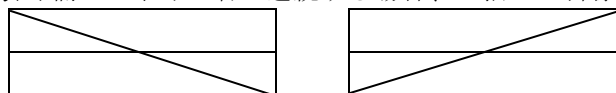
（留意事項）

○「各教科の記録」「特別活動の記録」及び「行動の記録」の各欄を除き、特に指示がない場合、記入事項がない欄は空欄とせず、斜線を引くこと。

○斜線は、左上から右下（）、右上から左下（）のどちらでもよい。

○斜線を引く欄が上下や左右に連続する場合、一括して斜線を引いてよい。

例)



(3) 提出

- ① 中学校長は、志願者の調査書を入学願書等と併せて志願先高等学校長に提出する。
- ② 調査書は、県教育委員会のホームページから取得した用紙（様式6-1）に記入したもの、又はそれを複写（コピー）したものに押印して提出する。

調 査 書

令和 6 年度 第 3 学年 組 号										※		
志願者	ふりがな		※漢字以外にもふりがな					性別		現住所	※指導要録に基づくとともに、入学願書と一致すること	
	氏名		※指導要録に基づくとともに、入学願書と一致すること									
	生年月日		平成 年 月 日					略歴		令和 年3月中学校卒業見込		
保護者氏名		※指導要録に基づくとともに、入学願書と一致すること					保護者現住所		※指導要録に基づくとともに、入学願書と一致すること			
各教科の記録	学年	観点別学習状況					評定			特別活動の記録		
		観点		1	2	3	1	2	3	学級活動	○	
	国語	知識・技能		-	A	-	3	4	3	学校行事	○	
		思考・判断・表現		C	-	A				生徒会活動	-	
		主体的に学習に取り組む態度		A	-	A				行動の記録		
	社会	<p>※第1学年、第2学年の「観点別学習状況」の評価は、指導要録に記載されたA及びCを転記し、Bは- (ハイフン) を記入する。</p> <p>※第3学年の「観点別学習状況」の評価は、令和6年12月末日までの学習状況をもとにA及びCを記入し、Bは- (ハイフン) を記入する。</p> <p>※一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、「観点別学習状況」の評価に() を付けるとともに副申書(様式は任意)を添付すること。「観点別学習状況」欄の「計」には、() を含めたAの数の合計を記入し、() を付けること。</p> <p>※評価不能の教科については、斜線を引くとともに、副申書(様式は任意)を添付すること。「観点別学習状況」欄の「計」には、評価不能の教科を除いたAの数の合計を記入すること。</p> <p>※第1学年、第2学年の評定は、指導要録に記載されたものを転記する。</p> <p>※第3学年の各教科の評定は、令和6年12月末日までの学習状況をもとに5段階評定で記入する。</p> <p>※「評定」欄の「計」には、各学年とも各教科の評定の合計を記入する。</p> <p>※一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、評定に() を付けるとともに、副申書(様式は任意)を添付すること。「評定」欄の「計」には、() を含めた合計を記入し、() を付けること。</p> <p>※評価不能の教科については、斜線を引くとともに、副申書(様式は任意)を添付すること。「評定」欄の「計」には、評価不能の教科を除いた合計を記入すること。</p>					4	5	4	基本的な生活習慣	○	
										健康・体力の向上	-	
										自主・自律	○	
										責任感	-	
	数学						5	4	4	創意工夫	-	
										思いやり・協力	○	
										生命尊重・自然愛護	-	
勤労・奉仕										-		
理科						3	3	3	公正・公平	-		
									公共心・公德心	-		
									出欠の記録			
									学年	欠席日数	欠席の主な理由	
音楽						4	4	4	1	10	骨折のため入院10	
									2	0	※なければ斜線	
									3	0		
美術						5	3	4	健康の状況			
保健						3	3	3				
技術						4	3	4				
外国語						(3)		4	※就学、及び受験上配慮すべき事項がある場合、その事項について具体的に記入する。移入すべき事項がない場合は、斜線とする。			
総合的な学習の時間の記録		※「総合的な学習の時間の記録」欄は、第1学年、第2学年及び第3学年における総合的な学習の時間の活動内容と評価を記入する。ただし、3学年については、令和6年12月末日までの内容と評価を記入する。										
参考となる諸事項		※「総合所見及び参考となる諸事項」欄は、各教科や総合的な学習の時間に関する所見、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、学校内外における部活動や奉仕活動、表彰を受けた行為や活動等の諸事項及び生徒の成長にかかわる総合的な所見等を記入する。					※「欠席の主な理由」は、欠席の主な理由がある者について、その理由(病名、自己の種類等)を記入する。ただし欠席日数が学年ごとに合計10日以上ある者については必ず記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。					
		※調査書の作成日付は、12月末日現在とあるが、12月の最後の授業日以降であれば、31日付でなくても構わない。										
本書の記載に誤りのないことを証明します。												
令和 6 年 12 月 日						記載責任者 職 氏名						
立				中学校 校長氏名				印				

(注) ※欄は中学校で記入しないこと。